



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アルファ

コード番号 3434 URL <http://www.kk-alpha.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木之瀬 茂

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員

(氏名) 大谷 邦昭

TEL 045-787-8401

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	11,767	10.3	662	115.5	741	128.9	497	122.3
24年3月期第1四半期	10,671	△3.5	307	△39.8	323	△22.8	223	△1.4

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 908百万円 (85.0%) 24年3月期第1四半期 490百万円 (85.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	52.08	—
24年3月期第1四半期	23.43	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	40,570	19,159	45.9	1,948.51
24年3月期	38,901	18,463	46.0	1,871.24

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 18,613百万円 24年3月期 17,875百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	13.00	—	17.00	30.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,500	1.9	750	33.7	480	27.3	20	△90.3	2.09
通期	48,300	1.3	2,200	1.8	1,850	0.7	1,100	2.5	115.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	10,200,000 株	24年3月期	10,200,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	647,348 株	24年3月期	647,348 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	9,552,652 株	24年3月期1Q	9,552,721 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信に關しましては、四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施済みです。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9
(7) 重要な後発事象	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の世界経済においては、米国経済が緩やかな回復基調で推移する中、中国及び新興国の成長鈍化や、欧州債務問題の深刻化など、先行き不透明な状況となっております。

日本経済は、震災からの復興需要による公共投資の増加があった一方で、円高の長期化により輸出関連企業を中心に影響が懸念されております。

当社グループの属する自動車業界では、北米、アジアにおいて生産台数が前年に比べ増加しました。また、国内では震災による供給不足の影響があった前年同期に対して、エコカー補助金の効果などにより生産台数が増加致しました。

セキュリティ機器業界では、住宅取得優遇制度の効果で新設住宅着工戸数は増加傾向にあり、個人消費も堅調に推移しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高については、前年同四半期比10.3%増の117億67百万円となりました。利益面については、コスト削減を継続的に進めたことにより、営業利益は6億62百万円（前年同四半期比115.5%増）、経常利益は7億41百万円（同128.9%増）、四半期純利益は4億97百万円（同122.3%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## 自動車部品事業（日本）

自動車部品事業（日本）におきましては、主要得意先の自動車生産台数が回復したことに加え、コスト削減を継続的に進めたことにより、売上高は55億89百万円（前年同四半期比3.5%増）、営業利益は3億67百万円（同300.9%増）となりました。

## 自動車部品事業（北米）

自動車部品事業（北米）におきましては、主要得意先の自動車生産台数が増加したことにより増収となりましたが、生産体制見直しによる一時費用が発生したこと等により、売上高は21億34百万円（同6.5%増）、営業損失は1億95百万円（前年同四半期は営業損失76百万円）となりました。

## 自動車部品事業（アジア）

自動車部品事業（アジア）におきましては、主要得意先の自動車生産台数が増加したことにより、売上高は41億98百万円（同13.0%増）、営業利益は4億13百万円（同32.0%増）となりました。

## セキュリティ機器事業（日本）

セキュリティ機器事業（日本）におきましては、新設住宅着工件数が増加傾向にあること、個人消費が堅調に推移していること等により、売上高は15億12百万円（同31.2%増）、営業利益は1億10百万円（前年同四半期は営業損失11百万円）となりました。

## セキュリティ機器事業（海外）

セキュリティ機器事業（海外）におきましては、売上高は28百万円（同22.4%減）、営業利益は1百万円（同83.9%減）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は243億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億17百万円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が5億79百万円、原材料及び貯蔵品が2億2百万円、仕掛品が79百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は162億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億51百万円増加いたしました。これは、有形固定資産が5億51百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、405億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億68百万円増加いたしました。

## (負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は131億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億95百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が2億78百万円、短期借入金が4億16百万円、未払法人税等が1億80百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は82億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億22百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が1億88百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、214億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億73百万円増加いたしました。また、有利子負債は、92億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億36百万円増加いたしました。

## (純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は191億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億95百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が3億53百万円、為替換算調整勘定が4億23百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は45.9%（前連結会計年度末は46.0%）となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動により5億10百万円の増加、投資活動により3億10百万円の減少、財務活動により1億93百万円の減少となりました。また「営業活動によるキャッシュ・フロー」と「投資活動によるキャッシュ・フロー」との差額であるフリー・キャッシュ・フローは2億円の収入となり、前年同四半期の16億9百万円の支出から18億10百万円の増加となりました。

以上の結果、換算差額を含めた当第1四半期連結会計期間末における資金の残高は、前第1四半期連結会計期間末に比べ28億9百万円増加の75億58百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による収入は5億10百万円となり、前年同四半期の7億52百万円の支出に対し12億62百万円の増加となりました。これは、売上債権の増減額が1億21百万円、仕入債務の増減額が11億88百万円増加したこと等によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による支出は3億10百万円となり、前年同四半期の8億57百万円の支出に対し5億47百万円の支出の減少となりました。これは主として差入保証金の差入による支出が5億15百万円減少したこと等によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による支出は1億93百万円となり、前年同四半期の3億15百万円の支出に対し1億21百万円の支出の減少となりました。これは、短期借入金による収入が4億6百万円増加しましたが、長期借入による収入が2億44百万円減少したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきまして、平成24年5月15日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## (減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,807	7,856
受取手形及び売掛金	9,039	9,619
商品及び製品	1,173	1,144
仕掛品	701	781
原材料及び貯蔵品	2,916	3,118
その他	1,600	1,835
貸倒引当金	△13	△13
流動資産合計	23,225	24,342
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,880	4,019
機械装置及び運搬具(純額)	2,513	2,706
土地	1,505	1,695
その他(純額)	2,862	2,893
有形固定資産合計	10,762	11,313
無形固定資産	815	759
投資その他の資産	4,098	4,154
固定資産合計	15,676	16,227
資産合計	38,901	40,570
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,831	7,110
短期借入金	2,256	2,672
未払法人税等	150	331
賞与引当金	471	642
製品保証引当金	181	262
事業構造改善引当金	95	—
その他	2,031	2,094
流動負債合計	12,017	13,113
固定負債		
長期借入金	5,130	4,941
退職給付引当金	585	544
資産除去債務	67	67
その他	2,636	2,743
固定負債合計	8,420	8,297
負債合計	20,437	21,411

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,760	2,760
資本剰余金	2,952	2,952
利益剰余金	13,215	13,569
自己株式	△578	△578
株主資本合計	18,349	18,703
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,262	1,223
為替換算調整勘定	△1,736	△1,313
その他の包括利益累計額合計	△474	△89
少数株主持分	588	545
純資産合計	18,463	19,159
負債純資産合計	38,901	40,570

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	10,671	11,767
売上原価	9,198	9,860
売上総利益	1,473	1,906
販売費及び一般管理費	1,165	1,244
営業利益	307	662
営業外収益		
受取利息	5	7
受取配当金	33	11
為替差益	0	56
不動産賃貸料	6	6
その他	12	49
営業外収益合計	58	131
営業外費用		
支払利息	34	35
その他	7	17
営業外費用合計	42	52
経常利益	323	741
特別利益		
固定資産売却益	0	38
特別利益合計	0	38
特別損失		
固定資産除却損	0	22
投資有価証券評価損	0	—
製品保証引当金繰入額	—	79
その他	—	20
特別損失合計	0	121
税金等調整前四半期純利益	322	657
法人税、住民税及び事業税	132	222
法人税等調整額	△53	△54
法人税等合計	78	168
少数株主損益調整前四半期純利益	244	489
少数株主利益又は少数株主損失(△)	20	△8
四半期純利益	223	497



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	244	489
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	66	△39
為替換算調整勘定	180	459
その他の包括利益合計	246	419
四半期包括利益	490	908
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	451	881
少数株主に係る四半期包括利益	39	26

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	322	657
減価償却費	505	420
のれん償却額	3	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△17	△1
受取利息及び受取配当金	△38	△19
支払利息	34	35
投資有価証券評価損益 (△は益)	0	—
固定資産売却損益 (△は益)	0	△38
固定資産除却損	0	22
賞与引当金の増減額 (△は減少)	189	170
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△12	81
売上債権の増減額 (△は増加)	△441	△319
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△130	△73
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,151	37
その他	128	△378
小計	△606	595
利息及び配当金の受取額	45	18
利息の支払額	△30	△25
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△160	△77
営業活動によるキャッシュ・フロー	△752	510
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	62	—
定期預金の預入による支出	—	△163
有価証券の取得による支出	△187	—
有形固定資産の取得による支出	△493	△349
有形固定資産の売却による収入	697	223
無形固定資産の取得による支出	△12	△16
投資有価証券の取得による支出	△416	△4
差入保証金の差入による支出	△515	—
その他	6	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△857	△310
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	—	406
長期借入れによる収入	500	256
長期借入金の返済による支出	△436	△509
配当金の支払額	△171	△162
少数株主への配当金の支払額	△58	△69
その他	△148	△115
財務活動によるキャッシュ・フロー	△315	△193
現金及び現金同等物に係る換算差額	30	△134
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,894	△128
現金及び現金同等物の期首残高	6,643	7,686
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,749	7,558

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(6) セグメント情報等  
(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品事業 (日本)	自動車 部品事業 (北米)	自動車 部品事業 (アジア)	セキュリテ ィ機器事業 (日本)	セキュリテ ィ機器事業 (海外)	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	4,070	1,992	3,438	1,142	27	10,671	—	10,671
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,330	11	276	9	9	1,636	△1,636	—
計	5,400	2,004	3,714	1,152	36	12,308	△1,636	10,671
セグメント利益 又は損失(△)	91	△76	313	△11	9	326	△19	307

(注) 1. セグメント利益の調整額△19百万円は、セグメント間取引消去△19百万円であります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II. 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品事業 (日本)	自動車 部品事業 (北米)	自動車 部品事業 (アジア)	セキュリテ ィ機器事業 (日本)	セキュリテ ィ機器事業 (海外)	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	4,364	2,123	3,769	1,503	6	11,767	—	11,767
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,225	11	429	8	21	1,696	△1,696	—
計	5,589	2,134	4,198	1,512	28	13,463	△1,696	11,767
セグメント利益 又は損失(△)	367	△195	413	110	1	697	△35	662

(注) 1. セグメント利益の調整額△35百万円は、セグメント間取引消去△35百万円であります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(7) 重要な後発事象  
該当事項はありません。